

2024年5月18日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 メール前文

私達は、地球世界の完全平和を心底から望み、日々神聖を意宣(いの)り放ちながら生きています。私達が望んでやまない大調和が成立した世界は、"自然界の円滑なる循環"と"生きとし生けるもの安寧"が同時成立した世界です。その世界を創りあげる唯一絶対の条件は、地球人類の心身に神聖が甦ることです。

どうしてかと申しますと、現象界は人類の内面の映し鏡だからです。それゆえ、地球人全員が宇宙神の理念を分担して顕現する段階に至れば、何らの労苦なく自然と生きとし生けるものと人類が生命の循環の中で、支え合い、活かし合い、助け合い、繋がり合って生きることが可能になるといえます。

そのためには、そうした真理を思い出した私達が、「自己の本質は神聖なり」と100%自覚し、その本分を滞りなく顕わし生きることが大切になってまいります。なぜならば、まったく真理を見失った地球の人達には、「あんなふうに生きればいいんだ」と思っていただけるようなロールモデルとなる先達が必要だからです。

ロールモデルは『役割の規範』を指します。考え方やその一挙手一投足における言動行為が、人類の模範となる人物のことあります。また、様々な性質の人類が存在しているため、そのロールモデルの人数は、地球人類の性質の種類を充たす人数が必要とされています。

地球の調和のために日々祈り、印を組む私達ひとりひとりは、個々が独自の個性を持っており、実にユニーク（唯一無二）な存在であります。その事実を裏返して観れば、今、平和を祈願しながら印を組める私達ひとりひとりの存在が、地球界に必要な"人類の性質上の種類"を見事に充たしているといえます。

そうした神々のご計画に組み込まれているからこそ私達は、日々集い、力を合わせて共に祈り、印を組んでおります。そのような私達の存在は、"然るべき時代(とき)に、然るべきところに現われた然るべき人々"であるといえます。しかしながら、地球界の完全平和を達成するためには、他に愛を施し、祈り、印を組むと同時に、自らを磨き、育て、高め、神聖の深みを極める自己教育が必要です。

私達自身に適切な自己教育がなければ、片方で光の波動を響き出しながら、それ以外の無意識に生きている時間には、無自覚的に二元対立の業波動を垂れ流しにしている状態になるからです。それでは、私達が日々発している光の波動が相殺されてしまい、他に光を放ちながらも自らの意識進化が遅々として進まないことになります。

まだ地球界の命運が瀬戸際に至っていなかった時代には、個々がそこまで厳格に自らを磨かなくとも大きな影響はありませんでした。しかしながら、剣が峰の時代である現在は、真理に目覚めた人達の一挙手一投足こそが、輝かしい未来の成就に大きな影響力を持っています。そのような意味では、私達が生きる毎日・毎時・毎分・毎秒は、神聖の時代に近づくか否かの選択肢・分岐点の連続だといえます。

ここ数千年にかぎって云えば、今ほど地球を守護する神々と肉体人類の距離が縮まっている時代はありません。それは、約一万人の『神人』が地上に誕生したことにより、それ以外の地球人類にも神聖復

興の潮流が静かに世界人類に広がっているからです。それは、観る眼のある人が観れば、混沌とした状況の奥に広がっている歴然とした事実であります。

そうした事実を心底に落とし込みますと、私達の心に「自らを育てよう」、「揺るぎない神聖を確立しよう」と、神聖発現への発心に火が付きます（Divine Sparkする）。発心に火が付きさえすれば、後は自然と自らを育てる行動が伴います。そのようにして私達が本気を出せば、誰もが「為せば成る」を地で行くことができます。

そこで眼を向けるべき大切なことは、宇宙全体や個々の波動圏における『万象を構成する精神波動と物質波動の途切れなき循環』、即ち『生命全体における一体性の実態』を、心と体で実感・体感するための間断なき練習をすることです。その練習が私達の内面において、祈りや印といった外側へ向けた善行と同時進行で行なわれていれば、私達は自身の本質が神聖にあることを100%自覚し、その本分を顕現して生きることができます。

そのようなことを踏まえて土曜日の夜は、私達がワンネスの実感・体感を強化するためのプログラムを行ないます。それは、私達自身が自らを育てると同時に、人類にも神聖自覚の種を蒔く取り組みです。今回は一つ一つの項目に対して、宣言をして印を組み内觀を深める行を繰り返してまいりますので、すべての個人的思考は守護霊様にお預けして、心を空にしてご参加ください。それが出来ないと思われる方も、一緒に行なってゆく内にそうなりますので、どうぞ安心してご参加ください。

★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★

2024年5月18日(土)夜 『神聖で繋がり合う日』 初めの話 5分00秒

皆様、こんばんは。夜のズーム祈りの会を始めます。

今、ここに居ても居なくても、自覚があってもなくても、日々の生活の中でお祈りや印をうますたゆまずなさっておられる方々は、ひとりひとりが人類の見本・お手本・ロールモデルの一人として、ほかの誰も歩んだことのない前人未到の道を切り開きながら生きておられます。

私達が切り開いている道は、個々人の個性や持ち味はそのままに、それぞれの性質の方が神聖復活を果たしてゆく道のりです。

それは、富士登山を例に例えますと、東から登る人、西から登る人、南から登る人、北から登る人、南南西方向から登る人、北東方向から登る人、南西方向から登る人のように、種々様々な性質の人々が通る悟りへの道を切り開いていることです。

そのようなことを空の上から見渡してみると、私達が様々な個性を持ちながら、今こうして力を合わせて祈り続けていることは、神聖復活へ至るあらゆる方向からの登り道を切り開いている状態だといえます。

2024年5月18日現在の私達ひとりひとりは、世界人類が真理に目覚めるその日その時へ向けて、各自の道を切り開きながら、みんなが通ることができるよう、道を整えながら生きてています。私達が今、こうして切り開いている道を、いつか世界中の誰かが登る日がやってまいります。

その日が来たときに私達がやるべき事は、道そのものとなって背中を渡っていただいたり、時には手を引いたり、背中を押したりしながら、人類の神聖復活をサポートすることです。

その日へ向けて本日は、「あー、そうだったのか。私達は太初(はじ)めっから神聖の光の中でまったく一つの存在だったんだ。みんな元々、繋がり合って生きていたんだ。なーんだ、観えていなかっただけだったんだ」と腑に落とし、納得する日にしてまいります。

本日は、七つの項目へ向けて宣言をし、神聖復活の印を組み、静かに祈る時間を取りことを繰り返しながら、私達が大自然や生きとし生けるもの・人類のすべてと繋がり合い、支え合い、生かし合い、助け合って生きていることを確認する日にいたします。

また本日は、一番目から四番目の項目で、今大変な状況にある方々に寄り添い、その方々の心に神聖の光を届けるお祈りをいたします。合計で33回の印を組んでまいりますが、立って行なわれる方は、膝や腰の状況に応じて、「ちょっと痛いなあ」と感じましたら遠慮せずに、お座りになってお組みください。

それでは、はじめに、世界平和の祈りを日本語と英語で行ないます。

★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★

1. 世界平和の祈り

世界人類が平和でありますように。

日本が平和でありますように。

私たちの天命が完うされますように。

守護靈様、ありがとうございます。守護神様、ありがとうございます。

May peace prevail on Earth.

May peace be in our homes and countries.

May our missions be accomplished.

We thank you, Guardian Deities and Guardian Spirits.

★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★

2. ワンネスのメディテーション

私達は今、神聖文明を築きながら共に働いている。

We are now working together to create a Divine Civilization.

人類も手を取り合い、協調の道を歩み始めた。

Humanity is also beginning to walk hand in hand toward the way of harmony.

★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★

3. すべてとの繋がり合いを体感する時間

次は、私達がかかわる森羅万象との繋がり合いを促進するための取り組みを行ないます。それぞれの項目毎に宣言をして、神聖復活の印を組んだ後に、お祈りする時間を取りますので、そのときに、私達が

組んだ印の光がその祈りの対象と私達を一つに結び、互いの波動が循環し合って活かし合い、高め合っている様子をイメージしながらお祈りします。

3-1. 自然災害に遭い苦労されている人々への祈り

はじめは、自然災害にあって苦労されている人々へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達の心は、自然災害にあって苦労されている人々といつも共にあります。

自然災害にあって苦労されている人々の天命は完うされています。

人類の神聖復活、大成就。

[神聖復活の印を三回]

ここで、自然災害にあって苦労されている人々と私達がいつも繋がり合っていて、互いを生かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-2. 紛争や戦争の中で苦労されている人々への祈り

次は、戦争や紛争の中で苦労されている人々へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達の心は、紛争や戦争の中で苦労されている人々といつも共にあります。

紛争や戦争の中で苦労されている人々の天命は完うされています。

人類の神聖復活、大成就。

[神聖復活の印を三回]

ここで、戦争や紛争の中で苦労されている人々と私達がいつも繋がり合っていて、互いを生かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-3. 競争社会の中で苦労されている人々への祈り

次は、競争社会の中で苦労されている人々へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達の心は、競争社会の中で苦労されている人々といつも共にあります。

競争社会の中で苦労されている人々の天命は完うされています。

人類の神聖復活、大成就。

[神聖復活の印を三回]

ここで、競争社会の中で苦労されている人々と私達がいつも繋がり合っていて、互いに支え合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-4. 障害や病気などで不自由されている人々への祈り

次は、障害や病気などで不自由されている人々へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達の心は、障害や病気などで不自由されている人々といつも共にあります。

障害や病気などで不自由されている人々の天命は完うされています。

人類の神聖復活、大成就。

[神聖復活の印を三回]

ここで、障害や病気などで不自由されている人々と私達がいつも繋がり合っていて、互いを活かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-5. 大自然（大地・水・空気・天象）への祈り

次は、大自然へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達はこの星のすべての大地・水・空気と一つに結ばれています。

すべての自然の天命は完うされています。

大自然さん、ありがとうございます。

[神聖復活の印を三回]

ここで、大自然と私達がいつも繋がり合っていて、互いを活かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-6. 生きとし生けるものへの祈り

次は、生きとし生けるものへのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達は、陸上・地中・水中・空に生きるすべての生物と一つに結ばれています。

生きとし生けるものの天命は完うされています。

すべての生物さん、ありがとうございます。

[神聖復活の印を三回]

ここで、生きとし生けるものと私達がいつも繋がり合っていて、互いを活かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

3-7. 世界のすべての人々への祈り

最後は、世界人類へのお祈りです。はじめに宣言をします。はい。

私達の心は、世界のすべての人々といつも共にあります。

世界のすべての人々の天命は完うされています。

人類の神聖復活、大成就。

[神聖復活の印を三回]

ここで、世界のすべての人々と私達がいつも繋がり合っていて、互いを活かし合い、高め合っている様子を、イメージしながらお祈りする時間を取ります。

[15秒間の瞑目]

★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ★ ❤ ☆ ❤ ☆ ❤ ★

以上